

A型事業所の意味を考え、価値を高める 滋賀(大津)の事例から

NPO法人 就労継続支援A型事業所全国協議会
社会福祉法人 共生シンフォニー

中崎ひとみ

A型事業所の仕事

お金

- * 事業収益により、給与を支払い経済的な自立を支えること

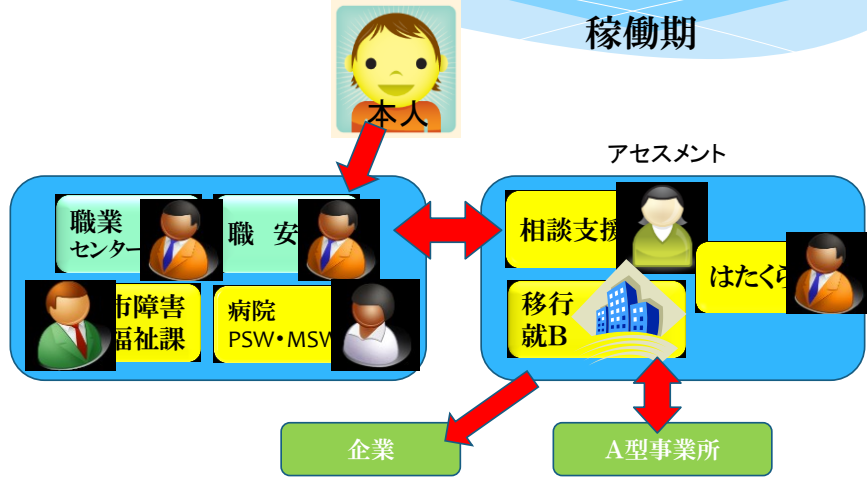
労働

- * 労働者としての権利を保障し、職業能力向上の機会を与えること

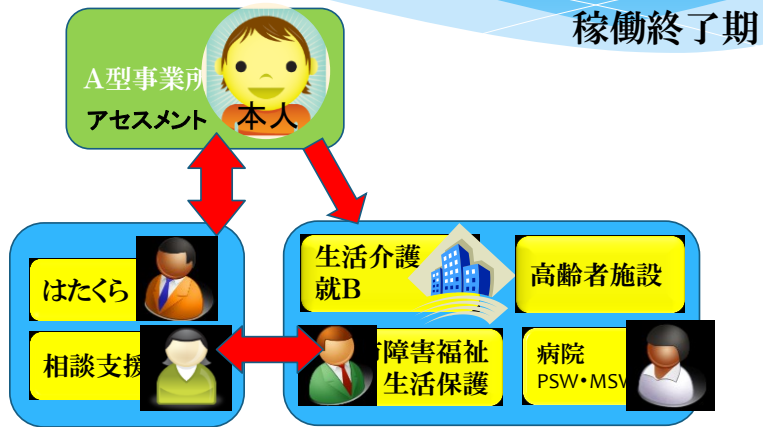
福祉

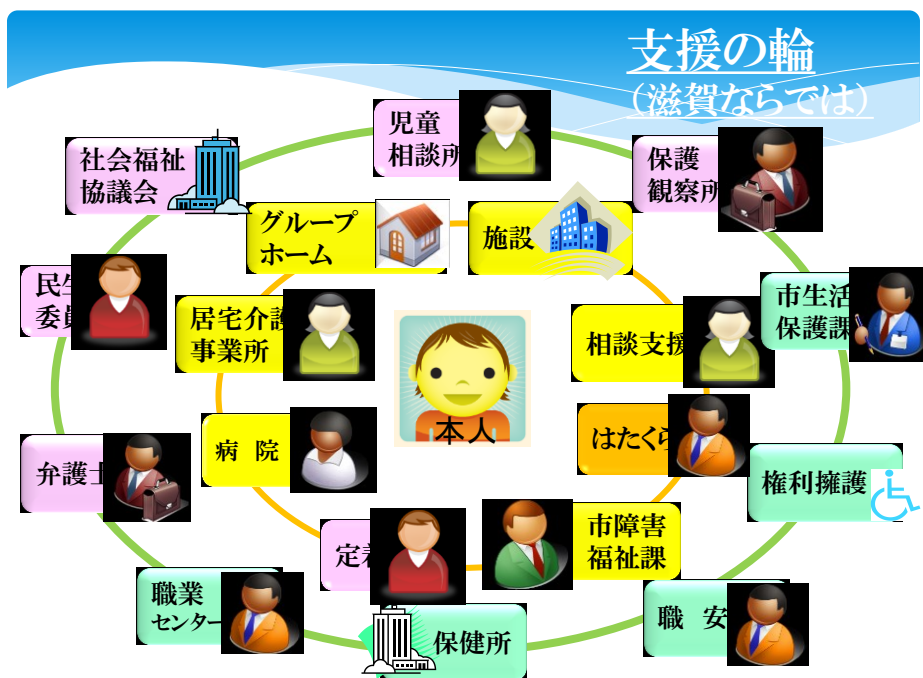
- * 利用者の人生を豊かにするよう責任を持って支えること

滋賀におけるA型事業者と支援組織の連携スキーム



滋賀におけるA型事業者と支援組織の連携スキーム





説明

*** 障害者働き暮らし応援センター(はたくら)**
 障害のある人の「働く」こと「暮らす」ことを一体的にサポートする専門機関。
 「雇用支援ワーカー」「生活支援ワーカー」「職場開拓員」「就労サポーター」等
 が配置され、本人・家族・企業からの相談に無料で応じる。

*** 地域定着支援センター(定着)**
 罪を犯した高齢者・障害のある人への支援を行う専門的機関。矯正施設退所
 時に、適切な福祉サービス等を利用し、地域の中での自立を営むことができ
 るよう、保護観察所と連携、矯正施設入所中から一貫した支援を行う。専任
 専任の相談員を配置し、コーディネート事業、フォローアップ事業、相談支援
 事業、啓発・研修を行う。

事例

A君 22才

知的ベース 軽度(保護観察期間残有)
両親とも障害有、家庭からの支援無

児童養護施設卒業後、自立支援ホームと
A型利用。
自殺未遂、家出、器物損壊による逮捕、
親のお金目当ての介入など事件は数多く・・・

関係機関と連携、定期的なケース会議開催
期間ごとの役割分担。12関係機関参加

現在

*グループホームから自立、アパートで一人暮らし
障害者年金と給与で生活。一人旅行の計画も



事例

Bくん 39才

精神 2級(発達による鬱)

高校時生徒会長、大学中退、通信教育で卒業。
2年ほど、バックパッカー歴有り。
就職したが結婚をきっかけに発病入院。
その後、会社や派遣を転々とし、入退院も繰り返す。
病院も転々と変える。

はたくらの紹介でA型利用に。障害者年金なども整い
定期面談で安定。

現在

*施設内の精神の女性と結婚。
アパートで独立した世帯を持っている。

A型だから出来る事 ～A型の未来の役割～

生活困窮者と一緒に働く事が出来る

*収益事業がある

*生活困窮者と重複する人が多い

ex:触法者:ホームレス、シングルマザー、高齢者等

なぜなら・・・ 福祉資源とスキルを持っている(はず)

社会に必要とされる役割を担うことが出来るかもしれない